

# 7・8月の新着図書からピックアップ!

- 『データから読む都道府県別ジェンダー・ギャップ』  
共同通信社会部ジェンダー取材班編  
(岩波ブックレット1095)

「地方で生まれ育った女性は、性別と地域の影響を受けている」  
『二重の格差』の影響を受けている」

↑ ドキッとしませんか? この現状を改善するために  
できることはないのでしょか…?

- 『図解 身近な科学が人に考えられるほどよくわかる本』 左巻健男 編著 (SBクリエイティブ)  
「エレベーターが落ちても溶け突の直前どうまくジャンプすれば助かるのか?」「ジェット旅客機の「酸欠マスク」は化学反応で酸素をつくる本音?」など… (ほら、気になってきたでしょ…?)

- 『やさしい日本語の時代は、やさしい介護の時代』 遠藤 結衣 著 (うつし書房)  
入院中、私も「セイジの月間明あ〜」と言われ、「せいきり可?!」と戸惑いました。(清和のことでした)  
なんぞ莫い言葉を使い売けるのどう、いつからその言葉を使うようになったのどう、こうやって周りでいい良いうた! という気がして、文章の読みやすさに驚くばかりの本です。

- 『新版 く貝有路』のある暮らし』 岡奈津子 著 (白水社)  
市場経済化ゆえのカザフスタンでは何を可引も貝有路がないとスムーズに可引まはない。  
あまりにも魚羊明な描写に、私もストレスがたまっていました(笑)。こんな面白い研究報告、一度読んでみてほしい!!

〈図書館のつぼやま〉

9月も来だといろいろ  
手だまに暑い…  
10月にはお盆、今頃は  
後半戦。  
行事も知人、不意に  
けだ、お盆はいい。

近所の前にカボス  
もいたのだいのだい、  
サニエも買入塩漬  
きにしてカボスの  
糸リコトをかけた食  
べた、美味しかった。

今年の夏の暑さは  
すごかった。昔は前  
泉短の森で、彼等  
をみつけた。  
もう秋に近づいたと  
思いつくと、とてもうれ  
しかった。

出張が三度に行つて  
きた。この方言がとて  
スチキな感じがする。  
なんか、やわらかくて  
かみかみしい感じが  
好き。また、  
ゆくりと遊ばせに  
行きたいなあ。

鹿児島県立短期大学 附属図書館

電話：099-803-4475 FAX：099-803-4473

<https://www.k-kentan.ac.jp/library/index.html>



## 県短図書館 通信

令和 6 年 9 月 第 10 号

後期月が始まりましたね!

いろいろな行事が計画されていて  
なんだかワクワクしちゃいます。

図書館のイベントも計画  
中! ぜひ遊びに来てくださいね。

〈今月のトピックス〉

- 特集：奄美に行きたい
- 「著作権」連載最終回



▶ 今月の特集

テーマ:

奄美に行きたい

みなさんも行きたいですよね、奄美。  
 ということで(?)今年度の新着図書の中から関連資料をご紹介します。  
 これで予習はバッチリ(たほす)。

『奄美雑言』

奄美でフィールドワークを行い、地域の観察・分析をされている須山先生。地理学の視点から、自然や文化、産業に亘る豊富な知識に至るまで、「スケッチ」をしています。「なるほど」、「あ、そう言うことだったのか」と思わすうたふてしまえます。奄美にどっぷり漬かる旅日記を作ってくれそうな本です。  
 (須山 聡著 / 海青社)

『奄美のハグと40年研究』

「寝てハグを走らすのは」、「ハグの研究を手伝っていたら、誰もいばくたつた」、「40年間、奄美のハグの研究をされている服部先生のエッセイ、面白すぎです。(はつり先生です、はつり先生はあひません) ちなみにも、本のイラストはすべて服部先生によるもの! (上手過ぎてイラストレーターの方のものだとばかり...)」  
 (服部 正策著 / 新潮社)

『奄美の森・生き物図鑑』

写真と見ていると思っ出す、奄美の日々。ハゲキジカがふれて大変だったな...。しりカケスと病院の近くで見かけた...。リュウキウコハズクが根は可々と鳴いていた...。ヤモリが家にすみついていた...。アザシの実がキレイだった...。マングローブ木を見に行ったら...。おわかりですね、それだけ自然が身近な生活だったのです。  
 (山口喜盛ほか著 / 南房新社)

『ヴァナクラートの民族学』

普通の生活の中にある、「ヴァナクラート」なアート。そのつとて挙げられているのが「Y-1 グラフティ」。奄美で開催されている、余興の大会です。これ、めちゃくちゃ面白くて聞いたことあります。私も一度見てみたい! あつたつたも予習にこの本、どうですか?  
 (菅 豊編 / 東京大学出版会)

『離島建築』

p.96-97に掲載されているボレクラ(群名)は、金釘が本に使われていたんですよ! 「南洋の走馬」がある建物、味わい深いわ。  
 (箭内博行著 / カラー・デザインズ)

『原色日本島図鑑』

大島地域はもろろん、県内のすべての島を掲載。(有人島のみ) 次はどどこに行こうかな、という妄想までできちゃいますよ。  
 (加藤 隆二著 / 新泉社)

▶ Access



飛行機で行く  
 鹿児島空港 - 奄美空港  
 は約1日時間!



フェリーで行く  
 鹿児島新港 18:00 出  
 → 名瀬港 5:00 入  
 (眠っている間に着いちやう)

ほら、ますます行きたくなつたでしょう。楽しんでくださいね。

<連載「著作権」って何だろう?>

最終回! ありがとう著作権!!

著作権について、簡単にはありまへが説明してきた連載も、今回でおしまい。

著作権って、一見面倒れそうだけど、物を生み出す人、それを使う人の両方に役に立つ権利なんですよね。

もし、これから困ったことがあったらこの連載を思い出して! 著作権を思い出してみてくださいね!

次回からは新作連載☆  
 お楽しみに。

▶ 図書館からのお知らせ

金曜講演会

「源氏物語の世界」

に参加しませんか?

① 11/1 (金)	} 18:30 - 20:00	④ 県立図書館
② 11/8 (金)		
③ 11/15 (金)		

国際大の武藤先生や、音楽師の中野さん、我らが木戸先生のお話を聞いてみませんか?  
 詳細は図書館までお問い合わせください。